

ウクレレのコードを移調するにあたって、まず各弦の各フレットが何の音なのかを知っておく必要があります。

下図を参照して、どこを押さえると何の音になるのか、知っておきましょう。

1弦	A	B $\flat$	B	C	C $\sharp$	D	E $\flat$	E	F
2弦	D	F	F $\sharp$	G	A $\flat$	A	B $\flat$	B	C
3弦	C	C $\sharp$	D	E $\flat$	E	F	F $\sharp$	G	A $\flat$
4弦	G	A $\flat$	A	B $\flat$	B	C	C $\sharp$	D	E $\flat$
				3フレット		5フレット		7フレット	

図：ウクレレ、各弦・フレットの音

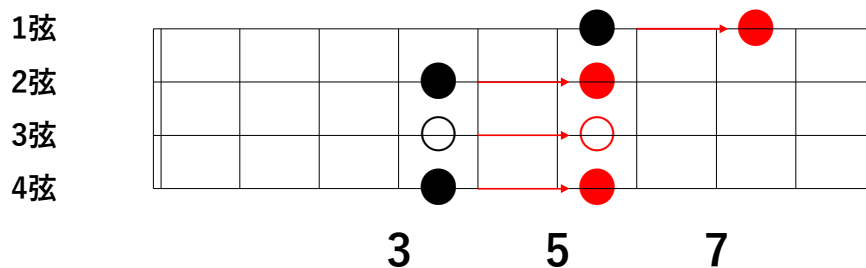
あとは、簡単です。移調したいコードを移調したい音程分、ポジションをそのままスライドさせます。

「 $\sharp$ 」1つに対してフレットを右に1つ、「 $\flat$ 」1つに対してフレットを左に一つずらします。

例) Emajのコードを全音（ $\sharp$ 2個分）上げたい場合、ルートを右に2フレットずらした同じコードネーム（F $\sharp$  maj7）を弾けばOK

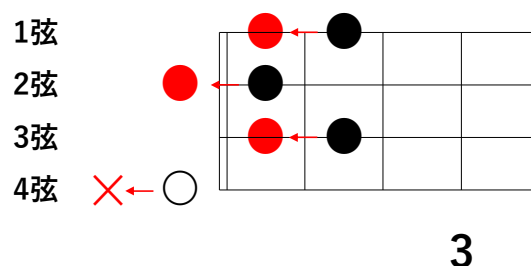
※「○」はコードのルート音

※黒丸はEmaj7のポジション、赤丸は全音移調後のF $\sharp$  maj7のポジション



ただし、一部に開放弦が含まれるコードを $\flat$ したい場合は、スライドでの対応が出来ません。

例) G7のコードを半音（ $\flat$ 1個分）下げたい場合、ルートを左に1フレットずらした同じコードネーム（F $\sharp$ 7）は押さえられない



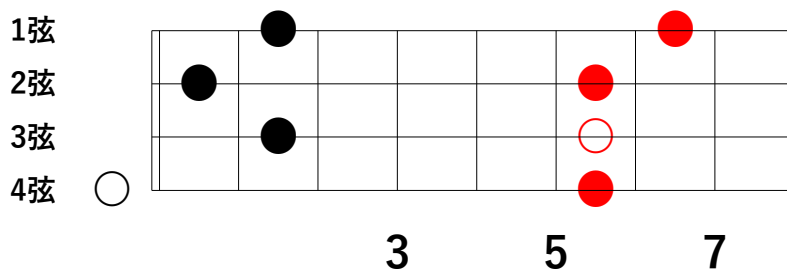
その場合は、ルート音が♭させたい個数分低い、同じコードネームのコードを探して、弾くしかありません。

例) G7のコードを半音(♭1個分)下げたい場合、Gより半音低いF#をルートにしたF#7を、別ポジションで探して弾くしかない

- ・「G」の半音下は「F#」

1弦	A	B $\flat$	B	C	C $\sharp$	D	E $\flat$	E	F
2弦	D	F	F $\sharp$	G	A $\flat$	A	B $\flat$	B	C
3弦	C	C $\sharp$	D	E $\flat$	E	F	F $\sharp$	G	A $\flat$
4弦	G	A $\flat$	A	B $\flat$	B	C	C $\sharp$	D	E $\flat$
				3フレット		5フレット		7フレット	

- ・「F#」をルートにして、○7のコードを弾く



コードを#させる場合も同様です。移調前のルート音からいくつ#させたいか、を確認して、まずルート音を移調させ、移調前のコードと同じコードネームを弾きましょう。